



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社 サンエー化研  
 コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 山本 明広  
 (氏名) 近江 剛  
 TEL 03-3241-5702

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	23,747	4.9	288	74.5	593	46.7	384	47.9
30年3月期第3四半期	24,982	6.1	1,129	12.0	1,114	1.5	737	2.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 78百万円 (94.2%) 30年3月期第3四半期 1,344百万円 (24.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	34.99	
30年3月期第3四半期	67.17	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	34,935	19,738	56.1	1,784.99
30年3月期	35,656	19,858	55.2	1,793.86

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 19,589百万円 30年3月期 19,687百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		9.00		9.00	18.00
31年3月期		9.00			
31年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,400	1.1	500	58.3	750	33.9	450	49.3	41.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	11,320,000 株	30年3月期	11,320,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	345,345 株	30年3月期	345,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	10,974,655 株	30年3月期3Q	10,974,677 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間における世界経済につきましては、好調な米国経済に支えられ堅調に推移してまいりましたが、過熱する米中貿易摩擦が両国の企業活動に影を落とし、世界経済に負の影響を及ぼしつつあります。

わが国経済においては、個人消費、設備投資の持ち直しと輸出取引の増加によって景気は緩やかな回復基調にありますが、人手不足の深刻化に伴う人件費の上昇や自然災害の発生、米中貿易摩擦の影響等により、景気回復ペースに減速感が見え始めてまいりました。

そのような状況下、当社グループにおきましては、スマートフォン市場の減速や採用機種モデルチェンジ等により光学用表面保護フィルムの受注が減少したほか、エア緩衝材や剥離紙、テープ用基材等の受注も振るわず、減収となりました。損益面については、売上減少に加え、原材料コストの上昇や比較的収益性の高い製品の販売比率低下等の要因が重なり、営業利益段階で減益幅が拡大しましたが、新工場建設にかかる補助金収入の計上によって営業外収益は増加しました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高237億47百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益2億88百万円（前年同期比74.5%減）、経常利益5億93百万円（前年同期比46.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億84百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりです。

#### 軽包装材料

食品用包材の分野では、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」及び清涼飲料用パウチの受注が堅調で、増収となりました。

医薬・医療用包材の分野では、高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」の受注が微増となりましたが、他の医薬・医療用包材の受注が減少したことにより、減収となりました。

洗剤・トイレタリー用包材の分野では、化粧品用包材及び詰替え用パウチの受注がともに回復し、増収となりました。

精密機器その他の包材の分野では、エア緩衝材「エアロテクト」の主力ユーザーにおける使用量削減に加え、他の包材についても受注が伸び悩み、減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は96億64百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

#### 産業資材

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、物流関係や建築関係で使用される粘着テープの需要は増加しているものの、テープメーカー間の競争激化によって受注機会が減少し、また、特定銘柄の新工場への移管業務長期化により生産活動が一部停滞したこともあって、減収となりました。

剥離紙については、電子部品用両面テープや医療用品向けが堅調であったものの、スマートフォン市場の減速によりFPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙の受注が減少し、減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は52億80百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

#### 機能性材料

粘着塗工タイプの表面保護フィルム「サニテクト」については、PET基材の「NSタイプ」の受注が伸長しましたが、その他の光学用途の受注が総じて低調で、減収となりました。

2層押出しタイプの表面保護フィルム「PAC」については、スマートフォン関連の受注が減少しましたが、偏光板用途や一般用途の受注回復を受け、前年同期並みの売上となりました。

精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、液晶テレビ関連が堅調に推移しましたが、スマートフォン関連の一部案件の終息や、その他光学用途の受注減少が響き、減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は83億15百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	9,664百万円	40.7%	3.3%減
産業資材	5,280百万円	22.2%	4.8%減
機能的な材料	8,315百万円	35.0%	6.9%減
その他	487百万円	2.1%	6.2%減
合計	23,747百万円	100.0%	4.9%減

## （2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

### （資産）

総資産は前連結会計年度末と比べて7億20百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が5億32百万円減少したことや、受取手形及び売掛金が4億8百万円減少したこと、投資有価証券が3億76百万円減少したこと等の減少要因が、関係会社短期貸付金が2億66百万円増加したことを主要因として流動資産のその他が3億91百万円増加したことや、関係会社出資金が2億67百万円増加したこと等の増加要因に相殺されたためであります。

### （負債）

負債は前連結会計年度末と比べて6億円減少いたしました。これは主に第1四半期連結会計期間から電子記録債務による支払いを開始したことに伴い電子記録債務が30億13百万円増加し、支払手形及び買掛金が25億38百万円減少したことや、未払法人税等が2億39百万円減少したこと、賞与引当金が2億43百万円減少したこと、長期借入金が4億38百万円減少したこと等によるものであります。

### （純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて1億19百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が2億83百万円減少したこと等の減少要因が、利益剰余金が1億86百万円増加したこと等の増加要因に相殺されたためであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案した結果、平成30年11月14日に発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、業績の見通しに変化がある場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,619,417	5,087,153
受取手形及び売掛金	9,900,790	9,492,186
電子記録債権	1,675,129	1,750,514
商品及び製品	1,353,745	1,367,503
仕掛品	1,293,789	1,267,749
原材料及び貯蔵品	584,012	744,769
その他	128,205	519,548
貸倒引当金	△33,035	△32,925
流動資産合計	20,522,056	20,196,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,113,926	3,983,681
機械装置及び運搬具（純額）	2,230,947	2,030,470
土地	1,948,200	1,948,200
その他（純額）	193,196	242,342
有形固定資産合計	8,486,270	8,204,695
無形固定資産	43,755	35,523
投資その他の資産		
投資有価証券	5,259,011	4,882,682
関係会社出資金	307,461	574,952
退職給付に係る資産	874,011	914,490
その他	164,308	126,901
貸倒引当金	△850	△0
投資その他の資産合計	6,603,942	6,499,027
固定資産合計	15,133,968	14,739,246
資産合計	35,656,024	34,935,745

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,875,043	4,336,050
電子記録債務	—	3,013,938
短期借入金	3,226,668	3,310,000
未払法人税等	239,403	310
賞与引当金	481,499	237,948
その他	1,902,366	1,623,795
流動負債合計	12,724,979	12,522,042
固定負債		
長期借入金	1,305,625	866,875
役員退職慰労引当金	117,536	110,387
退職給付に係る負債	514,477	511,270
資産除去債務	104,172	104,649
その他	1,030,857	1,081,763
固定負債合計	3,072,668	2,674,945
負債合計	15,797,648	15,196,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,756	2,136,756
利益剰余金	13,334,682	13,521,153
自己株式	△116,042	△116,042
株主資本合計	17,531,397	17,717,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,149,655	1,866,217
為替換算調整勘定	△1,225	△14,902
退職給付に係る調整累計額	7,265	20,544
その他の包括利益累計額合計	2,155,695	1,871,859
非支配株主持分	171,283	149,029
純資産合計	19,858,375	19,738,757
負債純資産合計	35,656,024	34,935,745

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	24,982,506	23,747,728
売上原価	21,517,706	21,099,763
売上総利益	3,464,799	2,647,965
販売費及び一般管理費	2,335,009	2,359,835
営業利益	1,129,789	288,129
営業外収益		
受取利息	224	5,651
受取配当金	105,958	117,469
為替差益	3,305	31,238
作業くず売却益	37,717	41,564
クレーム収入	20,660	5,929
補助金収入	—	276,521
その他	16,354	24,894
営業外収益合計	184,222	503,269
営業外費用		
支払利息	20,853	19,417
持分法による投資損失	173,344	170,976
その他	5,237	7,389
営業外費用合計	199,435	197,783
経常利益	1,114,576	593,615
税金等調整前四半期純利益	1,114,576	593,615
法人税、住民税及び事業税	268,668	122,280
法人税等調整額	107,113	108,687
法人税等合計	375,782	230,968
四半期純利益	738,793	362,647
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,600	△21,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	737,193	384,014



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	738,793	362,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	579,219	△283,964
為替換算調整勘定	1,568	△6,724
退職給付に係る調整額	23,485	13,279
持分法適用会社に対する持分相当額	1,180	△6,952
その他の包括利益合計	605,453	△284,362
四半期包括利益	1,344,247	78,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,341,918	100,179
非支配株主に係る四半期包括利益	2,329	△21,893

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	9,989,253	5,545,421	8,927,925	24,462,600	519,905	24,982,506
セグメント利益又は損失 (△)	520,856	△573,670	1,111,572	1,058,758	71,031	1,129,789

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	9,664,528	5,280,396	8,315,213	23,260,139	487,589	23,747,728
セグメント利益又は損失 (△)	331,185	△640,719	590,808	281,274	6,855	288,129

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。